

ライオンズクラブ国際協会 335-B地区
大阪島之内ライオンズクラブ (2R1Z)

会長 L 麻生 真司
報告者 L 田中 信行
(地区GMTコーディネーター)

「クラブ存続をかけて」

1 メンバー数の変遷

1968年12月8日	クラブ結成・CN	51名
1978年	CN10	63名
1988年	CN20	54名
1998年	CN30	37名
2008年	CN40	21名
2013年	CN45	19名

年々メンバーが減り、クラブ存続が危い！

2 「現在のクラブの問題点は？」問題点の検証

- ① メンバーが少ないので、会費が高い
→2015年 年会費 ¥372,000- /人
※ その他に、ドネーション 年間¥72,000-/人が必要
- ② 例会が盛り上がらない、出席率も下がる
→例会出席 平均10名～12名
- ③ アクティビティ参加者数が少ない
→8名～10名 程度
- ④ 徐々に高齢化が進み、LC経験薄の若年層が数人
→メンバー平均年齢 59才

奉仕団体でありながら、事業費比率がひくいままで本当に良いのか？

「クラブの未来を考える委員会」を結成し、今後5年間の5ヶ年改革計画を立案！

3 ASK1はどこが難しいのか？

- ・ 相手が敷居を高く感じていて誘いにくい（お金持ちの集まりと思われている）
- ・ 活動説明や意義を、上手く説明できない
- ・ 自分も、あまり理解していないので誘いにくい
- ・ 自分が参加するだけで、精一杯・・・

4 では、会員増強するには？

- ・ ライオンズクラブのメンバーシップとは？ステータスとは？等など

- 会費をどうやって下げるか、方法を検討
- ・若い世代に 参加してもらう為には？
 - 昼の例会を夜に変更した方が参加しやすいのでは？
- ・半強制的な、ドネーションを廃止した方が良いのでは？
- ・活動内容を解りやすく PR できるツールが必要！

5 改善と取組み

- ・ 会費全般の見直しを行い親睦会費や結婚・誕生祝など削減可能な経費を詳細に渡り、見直しを実施
- ・ クラブ事務局を、在宅勤務に変更し、事務所経費を削減
- ・ 事務局の稼働日数（月給からパートへ変更）を削減し人件費削減
- ・ アンケート実施の上昼間例会を夜間例会へ変更
- ・ ホテル例会から会議室での例会に変更
- ・ 例会後自由参加の食事会へ変更し、例会食費を取止め
- ・ 本来の趣旨に戻り、半強制的なドネーションの徴収を廃止
- ・ 比較的低会費（年会費 10 万円）な賛助会員から入会を促進し会員増強し、
- ・ 活動内容や意義を感じてもらう
- ・ 解りやすいパンフレットを用い PR 活動や、メンバー全員で ASK1 に取り組んでいます

6 年会費の推移（参考）

	2014 年度	2019 年度 (正会員と賛助 平均)
運営費	¥208,000-	¥113,000-
事業費	¥44,000-	¥55,000-
例会食費	¥120,000- (別途 ドネーション ¥72,000-が必要)	¥5,000- (内ドネーションなし)
年会費	¥372,000-	¥173,000-

7 改善と取組みの結果

2013 年	CN45	19 名
2018 年	CN50	32 名

13名の会員増強に成功！

7 今後の課題

- ・ アスク 1（例会出席率 UP とドロップ防止）を目的とした小グループ化（班編成）を図り、より緻密なメンバーシップの構築を図る（準備・協議中）
- ・ 賛助会員から正会員へのランク UP を図る
 - 現在、正会員年会費¥220,000-賛助年会費¥100,000-
- ・ 物故・高年齢化・転勤等による退会・休会も考慮し、常に全員でアスク 1 を意識し、会員増 20%以上を図る必要がある